

ここにご紹介する建物は原則、中に入っただけの見学はできません。 印についてはグループで見学する場合は事前に深谷にぎわい工房までご連絡いただければ、ご希望に応じてルートのアレンジし、ガイドいたします。

### 旧田中籐左衛門商店



当蔵元は近江商人であり1716年（江戸中期）屋号「十一屋」としてこの地に創業。約950坪の敷地に本屋、店蔵、酒蔵、精米倉などの建物があり、古いものは幕末のものと推定される。平成16年、廃業により300年の歴史を閉じた。次の活用が検討されている。

### 飯島邸 本陣



飯島家は宝暦2年（1752）より明治3年まで本陣職を務めた。本陣の一部は印刷所の事務所裏手に現存し、上段の間、次の間、入側が古色を帯びて保存されている。

### 深谷れんがホール



昭和8年（1933）に深谷信用組合倉庫の解体レンガを再利用して建てられた、1階がレンガ造り、2、3階が木造土壁の倉庫で滑車がある。1階に改造し、イベントや会議等で誰でも利用できるよう貸出され、利用されている。

### 藤橋酒店

明治時代末期から大正時



代にかけて建てられた。中山道に面した建物は木造建築の町屋造り。構内にはかつての米蔵、精米所、煙突など土蔵造りの技術を応用したレンガ造りの建物が現存する。銘柄は東白菊。

### 深谷商業高校記念館（登録有形文化財）



大正11年（1922）大正時代の建築技術の粋を集めて建てられた木造校舎で、現存する唯一のもの。現在は、授業等で使われておらず、シンボルとしての「記念館」になっている。

### 坂本邸

市内でも最大級の町屋建築。2棟の土蔵も手入れされ、丁寧に住まわれている。深谷祭りには代々家に伝わる山車のミニチュアが飾られ、格子越しに見ることができる。



### 滝澤酒造



明治30年代に小川町から良質な水を求めて移転。昭和6年の西埼玉地震にも耐えたレンガ煙突（表紙の写真）には空襲の機銃掃射の傷が残る。町屋建築、土蔵、レンガ蔵など現在も現役の蔵元である。見学は事前予約で可能。銘柄は菊泉。

### 福島邸

大正10年頃建造のこんにやく原料倉庫兼製造工場。アーチ積みの窓、入り口が優雅で美しい。中山道に面した建物は総檜造りの贅沢な町屋建築。



### 小林商店

大正元年建造のレンガ倉庫は砂糖や乾物の倉庫の証を残し、土間床は黒光りしている。隣接する昭和2年建設の木造3階建洋館と並んだたたずまいは大正時代の深谷の姿を彷彿とさせる。



### 春山邸

街中の本格的な住宅専用建物であり、現存するものは珍しい。敷地内の土蔵は江戸と明治の物。庭内には松尾芭蕉と蜀山人の狂歌碑がある。



### 釜屋

明治15年建築の立派な大屋根を支える小屋組み、漆喰の目地が引き立つ瓦屋根はすばらしい。店は時代毎に様々に使われてきた。奥には江戸期の蔵、他2棟あり、現役倉庫として利用。



### 仲町会館

地元仲町（なかちょう）の寄合いに現役で使われている大正時代の木造建築。区画整理事業が進んでいるが、移転保存の検討もされている。



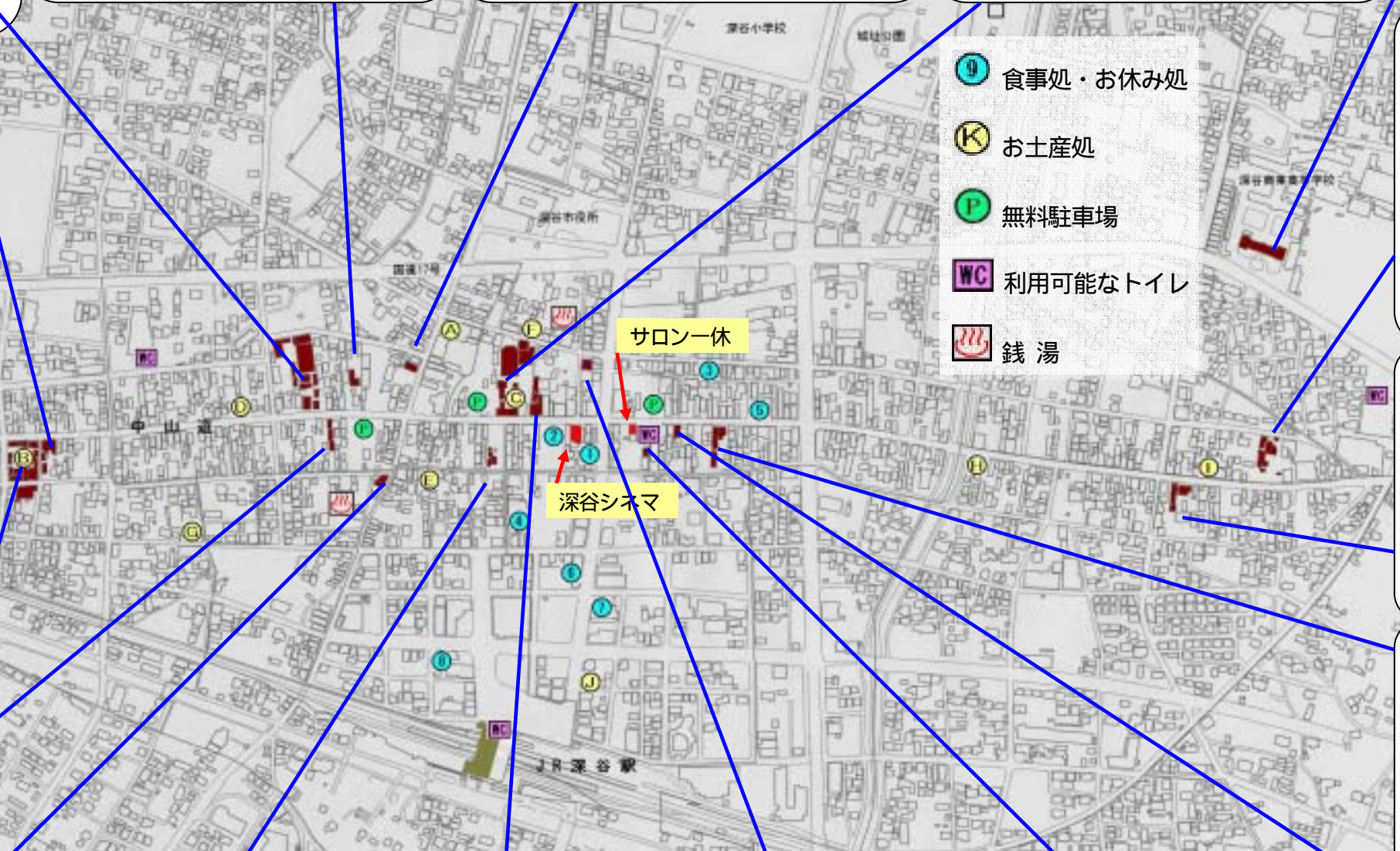
### 常盤園

明治時代初期に建てられた土蔵の周囲にレンガを積上げて作った茶舗で珍しいもの。入り口の西側には煉瓦製の防火壁もあり、近年の隣接火災にもびくともしなかった。



### 塚本商店

伝統的和風の町屋建築にレンガの「うだつ」をあしらった珍しい建築物。日本煉瓦製造株式会社に燃料の石炭を納めていた。入口にある大きな梁は秩父の山から切り出したもの。



- 食事処・お休み処
- お土産処
- 無料駐車場
- 利用可能なトイレ
- 銭湯

サロンー休

深谷シネマ